

38. 当院におけるカテーテル関連血流感染症(CRBSI) -現状と意識付け-

研究の概要

当院では、感染症対策チーム(ICT;Infection control team)が厚生労働省院内感染対策サーベイランス(JANIS)の判定基準に基づき、中心静脈カテーテル留置症例において血液培養陽性であった場合に各症例に対してフィードバックを行っていますが、臨床的敗血症(CSEP;Clinical sepsis)の発生状況や治療については明確ではありません。そこで当院における中心静脈カテーテル留置症例の現状を調査し、より適切な管理ができるよう検討しました。

研究の目的

本研究の目的は、当院で中心静脈カテーテルを留置した患者様の実態を調査し、今後の治療の改善を検討するために行われます。

本研究の参加について

本研究へ参加されたくない場合は、データ登録を拒否して頂くことができます。その場合は、研究責任者へご連絡ください。なお、登録を拒否されたことで、日常診療等で患者さまが不利益を被ることは一切ございません。

調査する内容

年齢、性別、カテーテル留置部位、留置期間、カテーテルの種類、留置後38℃以上の発熱の有無と発熱までの日数、血液培養の有無、血液培養検出菌種、CRBSIの診断の有無、転帰について調査を行います。氏名・住所・生年月日などの個人情報を含みません。

対象となる患者さまの利益・不利益

本研究は、患者さまのデータを電子カルテ内のデータベースから情報を抽出し、調査するのみですので、対象となる患者さまに利益及び不利益はありません。データ抽出後、解析を行う際に患者IDなどの個人情報は削除しますが、ファイル等はデータの漏洩がないよう十分注意して取り扱います。

調査期間

2017年1月1日から2017年12月31日に当院で中心静脈カテーテルを留置した患者さまの調査を行います。

研究成果の発表

調査した患者さまのデータは、集団として分析し、学会や論文で発表します。患者IDなどの個人情報 は削除された状態で分析しますので、個人が特定されることはありません。

研究代表者

救命救急科 山田成美

当院における研究責任者

救命救急科 山田成美

問い合わせ先

救命救急科 山田成美

TEL: 096-353-6501